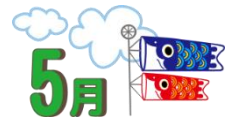


WAO! 輪を



【わ・リレーコラム】

第9走者は！・・・歯科医師編スタートです。



泉佐野市・藤谷歯科医院 **藤谷 善光** 先生です。

昨年12月に、泉佐野泉南医師会様からのご提案でサイボウズライブを用いた多職種の情報共有化の連携事業に参加させていただきました。

画像の閲覧、与薬の変更の情報の共有化等で非常に有効と感じました。

泉佐野泉南歯科医師会では、医師会様と同様に在宅歯科医療連携体制推進事業に取り組んでおり、在宅歯科医療ケアステーションの設置を目標に段階を経て事業を展開して参りますので多職種の方の御理解 御協力お願いいたします。

アンケートの結果（在宅医療に関して_医師編）

本年2月に、当医師会加盟医療施設（総数 179 機関）の全てに在宅医療への参画に関するアンケートを依頼し、101 施設（56%）から回答を頂きました。

この101 施設のうち、在宅診療（今回は集合施設を除きたいいわゆる居宅へ訪問診療ないし往診をおこなっている場合を在宅診療を行っている」と定義しました）を行っているのは51 施設（50%）でした。この51 施設に関して

1 施設当たりの在宅症例数をみると、

0 - 4 例：24 施設 合計症例数 34 例

5 - 9 例：14 施設 合計症例数 95 例

10 例以上：13 施設 合計症例数 377 例 でした。

この結果より、現状では在宅医療に参画しているが0-4 例（特に1、2 例）の在宅症例を担当する施設が多い一方で10 例以上の多数の症例を担当する施設が全体の75%

（ $377/34+95+377$ ）の症例をカバーしていることがわかりました。

この結果をふまえて在宅医療参画施設のすそ野、パワーをひろげるために地域連携室としてどのようなサポートができるかを検討し実行していきたいと考えています。

（地域連携室 室長 松若良介）

「今月のWAO!さん」からのメッセージ

【泉佐野泉南医師会 地域連携室 室長】 松若 良介 先生

平成27年度からの3年間の我が国の在宅医療推進事業は①「地域医療介護総合確保基金」を活用して行う、**在宅医療推進事業** と②介護保険法の「地域支援事業」に位置づけられ、市町村単位で行う**在宅医療・介護連携推進事業** の2つに大別されます。このうち、上記①は都道府県が音頭をとって、各地区医師会に委託する形で行われる事業であり、今回当医師会に発足した **地域連携室の設置および在宅医療J-データの配置**はこの中に属します。他方、昨年まで当医師会も参画していた「在宅医療連携拠点支援事業」は上記②に吸収される形になります。非常にややこしい話ですが、今後は地区医師会と市町村が良く似た事業を並行して行うこととなります。当医師会の地域連携室は発足したばかりで、まだ事業の方向性も明確に打ち出せていませんが、当面は1) 当該地区の医療・介護の連携の実態を詳しく把握し、2) 在宅医療に取り組む医療機関の数が増えるようなサポート体制を構築することから始めていきたいと考えております。

微力な我々だけでできることは限られており、これまで以上に皆様のご協力、ご指導を心よりお願い申し上げます

【賛同機関】泉佐野泉南医師会、泉佐野泉南歯科医師会、泉佐野薬剤師会、泉南薬剤師会、訪問看護、通所介護、理学療法士、作業療法士、ケアマネ連絡会、病院、6市町行政（高齢介護担当課）・地域包括支援センター、大阪府泉佐野保健所 他